

レースっていいよね
第31回 「ドッグファイト」の巻

10年来の悪友、前田というのがいる。この第29回にも書いた、ヤツだ。
ちなみに、レーシングオンに載ってた前田さんでは断じてない。尊敬する前田さんの名誉のために。

この前田、笑いのセンスもさるコトながら、「面白いモノ」のセンスも長けている。彼の説く「面白いモノ」は節操無く多種多様に及ぶが、的は得ているところから、以前から近場の市場調査の対象として活用している。

で、こいつに言わせると、レースなら4輪より2輪、しかもWGPの方が面白いという。
勝者の見えない激しいドッグファイト。そしてライディングフォームに現れる個性。これこそレースの醍醐味だ、と。
あえて4輪にこだわるなら、WRCが面白いと言う。これもまた激しいドライビングによる結構ハデな展開がある。

確かに一理ある。実際、WGPレースは見ていて楽しい。WRCもみていて飽きない。私自身がこんな事を肯定するのは、やや不謹慎かもしれないが、事実だから仕方ない。

そして、前田はこうも言う。「フォーミュラなんかやめてまえや」、過激な発言ではあるが、極論を急いで毒を吐くのがヤツの特徴なので、グッとこらえる。その大きな理由として、「バトルが無い」ことや「その割に長すぎて飽きる」などを挙げていた。これもまた確かに、だ。

いくら底辺レースは激しいと説明した所で、なにせ、ヤツの目に付く4輪レースといえ、TV放送しているモノに限られるから、いわゆる一般視聴者の立場とすればこれらの意見も、もったもかも知れない。大切なのは、ではどうするべきなのか？ という事だろう。

「バトルが無い」てのはよく聞く意見だ。エフワンはともかく、ぶっちゃけた話、日本に限っても思い当たる節はある。

ところで、レースを戦う当事者としては出来るだけ「ブッチギリで勝ちたい」ってのが本音だと思う。
早い段階でレースの主導権を握れる方が精神的にも楽なのは当然で、そういう展開を目指すエントラントと、最終ラップまでもつれるのを観ている方とでは、同じレースでも随分見る視点が違うかもしれない。

さておき、一個人の意見として、こと「バトル」に関してはマシンのワンメイクで有る無しには相関関係は無いと考えている。

シャシのワンメイク化は特に必然性のある措置とは思わない。仮にシャシーの選択肢があったところで、よりベストなマッチングを求めるエントラントは結局、みんな同じ傾向のシャシとそのセッティングを手に入れることになるからだ。これは、必然性から淘汰された選択の結果であり、事実上ワンメイクのような状態を作り上げる。

FポンのレイナードやF3のダララ然り、F4のウエスト然りである。

ただし、タイヤの性能は余りにも差が大きく出るので、どのカテゴリーもエントラントの資金繰り等を考慮すると、現状のフォーミュラレースにおいては、タイヤのワンメイク化やセット数の限定は避けられない状況だと思う。そして更に、これによりバトルのチャンスが訪れるという事実はある。

つまり「ドッグファイトの実現」は、極論では運転手の差による領域にあるのではないだろうか。(あくまでもエフワンを除いた比較なのだが)

Fポンに限って言えば、車輛のガタイがコースに対し大きい気がするので、全体的にもう少しサイズダウンしても良いのではないかと思う。その上で、参加台数を増やす。やはり予選落ちが出るくらい欲しい。エントラントが増えればその分バトルが増えるのは必至だ。

ところが、台数を増やすのが大変困難な問題だ。ドライバーのレベルと、エントラントの数を揃えなくてはならないからだ。ドライバーのレベルはともかく、まず資金的に、すんなりFポンに参戦できるエントラントは数少ない。

その為の打開策として、Fポンを「A/Bクラス」の混走にする。イギリスF3のBクラスみたいな立場である。一時に比べれば下がったとはいえ、やはりFポンの維持は金が掛かる。もしBクラスを年式落ちや、チープなシャシでも参戦可能という処置をとって、F3のチームで何とかなる状況なら、結構いい感じに集まるのではないだろうか。

そうすれば古いクルマも日の目を浴びるし、一石二鳥。

そのためにはエンジンメーカーの協力が是非とも欠かせないし、トップを爆走する選手達にしてみれば「危ない」という意見も出ると思う。ただ、スローカーや後ろを見てないクルマをどう調理するかも、レースを見る側としては面白いモノではないだろうか？

とはいえ、Bクラスとは言っても仮にもFポンという舞台なのだから、やはりドライバーの選出に関しては別途のライセンス発給や成績などを含め、十分な検討が必要であるのは確かだ。

あ、それと、ピット作業無しで、決勝レースを長くて1時間半程度の完全なスプリントレースにして欲しい。尚且つ、前座レースの数も極力増やすべきだと思う。高いチケットを買って、2~3レースしか見られないのは観客にしてみれば、まさに「高い」だろうし、前座レースに出場するエントラントにしても上のクラスを目に出来るのは自分自身への啓発にもつながる。

これらは、ひいては上のカテゴリーへの優れた人材の補給という側面をも持つのではないだろうか。タンデムシートに何だかよく分からないヒト(観客は別!)を乗せるパフォーマンスよりも、よっぽど身になると思うのだが。

何だか、結局Fポンについて・・・という展開になってしまったが、メディアに露出の多いFポンがどうにかならないと、フォーミュラはどうしようも無い。

でないと、いつまでたっても前田のヤツは「フォーミュラなんかやめろ」という意見を言い放ってしまう。これには、ほとほと参る。

